

節	対戦相手	H/A	試合結果	監督談話
1	J.FC MIYAZAKI	A	● 0 - 4	昨年度、上位のチームに対して、選手たちは高いモチベーションでゲームに臨みました。しかし、パワー、瞬発力、テクニック、ゲームコントロール、すべての面で川副を大きく上回っていました。 前半は、最少失点で終わらせることができましたが、後半途中から足が止まり失点を重ねてしまいました。特に、2点目の失点以降は、すべての面で支配されてしまいました。佐賀県リーグのチームにはない、相手の11人の選手は非常にハイレベルなプレーを見せていました。
2	海邦銀行SC	H	○ 2 - 0	前日の反省点をもとに、守備の課題に関してコンセンサスを取り合い、試合に臨みました。 相手のシンプルな攻撃に対して、危ない場面はあったが最後の局面で体を張って守備しました。 前半に、クロスから先制点をとりました。その後、天皇杯予選の反省点として、得点後の失点がありましたのでチームで改善を図り、リスクを出来るだけ察知して戦いました。 後半に関しては攻めるところは攻め、耐えるところは耐え、メリハリもつけられました。終盤には、ペナルティーキックの判定を受けましたが、ゴールキーパーのシュートストップもあり、無失点でゲームを終わらせられたことは収穫でした。選手は90分間の中で、非常に良いパフォーマンスが出来たと思います。 年度初めということもあり、2日間を通して少人数の遠征参加であったが勝ち点3をとれたことは大変よかったと思う。 最後に九州リーグ開幕に際して、九州サッカー協会・社会人連盟各県社会人連盟・運営いただいた沖縄県の皆様、大変お世話になりました。今後も宜しくお願い致します。
3	沖縄SV	A	● 1 - 4	ミーティングで決めた守備での約束事を守り、カウンターで点を取りに行く形を共通認識として持ちゲームに臨んだ。 技術・体力が勝る相手に守備で我慢の時間帯が長く、失点を重ねてしまった。 やはり、九州リーグでは先に失点してしまうと苦しくなるので、今後も守備に関してはしっかりブロックを造り、体を張ることが大切になってくると感じた。 攻撃に関しては、少ないチャンスの中得点できたことはよかった。カウンターの精度を上げられるようにトレーニングしていきたい。 最後に対戦、運営いただいた沖縄SVの皆様・沖縄県サッカー協会社会人連盟の皆様ありがとうございました。
4	NIFS KANOYA FC	H	● 0 - 3	先ずもって、ホーム開幕戦、多くのサポーターやスポンサーの方々に観戦していただきありがとうございました。 結果は、0 - 3と敗れましたが、次節以降修正を行い、準備したいと思います。さて、ゲーム内容ですが相手の体力とボール支配力に圧倒されることが多くありました。 左サイドへの速い展開と、正確なクロスや仕掛けについてズレが生じ、対応できなくなり失点しました。 試合中盤は、川副らしさでの攻撃も出来ましたが、もっと冷静にボールを繋げる時間帯があったと思います。その時間帯で、得点が欲しかったと感じています。 これまで、大学リーグ等で経験を積んできた選手が数多くいますので、自信をもって戦っていきます。 NIFS KANOYA FCの皆様、遠方の鹿屋市から来ていただきありがとうございました。
5	佐賀LIXIL	A	● 1 - 5	前半から2失点し、常に相手ペースで自分たちの試合運びが出来ず完敗。これをきっかけにチームでの守備の意識の徹底、統一をし、必ず巻き返しを図りたい。 今回運営、審判、ボールパーソンをしていただいた佐賀県サッカー協会様、佐賀LIXIL FC様、鹿島実業高校の皆様、審判団の皆様、ありがとうございました。
6	新日鐵住金大分	H	○ 1 - 0	本試合は、守備の意識の徹底、シンプルな攻撃の統一を図り臨みました。選手個々の強い気持ち及びチーム一丸となって戦った結果、無失点に抑える事ができました。 攻撃面でも少ないチャンスを得点につなげる事ができ勝利する事ができました。 まだまだ反省点や、修正する部分はありますが、勝利のために細かい部分までこだわってトレーニングして行きたいと思います。 今回試合に関わってくださった佐賀県サッカー協会さま、審判団さま、キッズエスコートのジュニア選手、ボールパーソンさま、そして川副クラブを応援してくださったスポンサーやサポーターの皆様、本当にありがとうございました。
7	熊本県教員蹴友団	A	● 0 - 2	まずは守備の意識を持って試合に臨みました。前半は選手たちも集中し、いい守備が出来ていました。 後半立ち上がりで失点してしまい、点を取りにいきましたが相手の守備を崩すことができませんでした。ただ、攻撃に関してはシュートを打つ場面が増えたことが収穫でした。 次節はホームでの集中開催なので必ず勝ち点が取れるようにトレーニングしたいと思います。 最後に運営していただいた、熊本県サッカー協会様・熊本県教員蹴友団も皆さまボールパーソンの高校生ありがとうございました。
8	九州三菱自動車	H	○ 4 - 0	集中開催でホームゲームの1日目、相手よりも運動量を増やし、まずは失点をしないように守備をしっかりすることをテーマにやりました。 前半の早い時間で先制でき、4点も取ることができたが、後半は無得点であった。しかし守備に関しては久々の無失点の試合であった部分は満足できた。

節	対戦相手	H/A	試合結果	監督談話
9	F C 中津	A	▲ 1 - 1 (PK0-3)	集中開催の2日目。連戦の為選手の疲労は気になるところだったが前日と同じように運動量をテーマにやりました。 後半立ち上がりには先制しましたが、直後に失点。最後まで中津さんの守備を崩せず引き分け、PK負けでした。 2日間通し、勝ち点を獲れたところは良かった。しかし連戦で怪我人も出ているため今後はチーム力が問われてくると思うのでしっかりとトレーニングをしていきたい。 最後に佐賀県サッカー協会様、社会人連盟様、佐賀工業サッカー部様、鳥栖工業サッカー部様、佐賀商業サッカー部様、九州社会人連盟様、審判団様、佐賀LIXIL FC様、2日間大変お世話になりました。
10	J.FC MIYAZAKI	H	● 0 - 3	守備の意識を高めて何とか少ないチャンスをものにできなかったのですが、思うようにいかず、3失点してしまいました。 私どもの守備ブロックを崩した相手選手を褒めたいと思います。
11	海邦銀行 S C	A	▲ 2 - 2 (PK3-5)	集中開催の2日目。疲れが残ってる中、勝ち点3を取りたい試合、取りに行った試合でした。 前半、エースが先制をして、しかも相手GKが赤紙で退場しました。数的優位にもかかわらず、勝ちきれませんでした。 選手は、最後まで良く走り切って、最低限の勝ち点1を取ることができました。これから暑くなりますが、残りの試合、勝ち点を少しでも多く取れるよう団結していきます。 最後に大分県サッカー協会の皆様、新日鐵様、F C 中津様ありがとうございました。後期も宜しくお願い致します。
12	沖縄 S V	H	● 1 - 4	猛暑の中上位のチームとの対戦でした。 開始早々失点し、相手の攻撃に対し我慢する時間帯が長く続いたが、選手たちは辛抱強くブロックを作り守れていたが、相手の攻撃陣が一枚上手でした。 攻撃に関しては、カウンターでチャンスを作っていたがつなぎの部分やフィニッシュの精度が低くなかなか点が取れなかった。 エスコートキッズをしてくれた川副少年や応援に来ていただいた皆様の前で勝ち点を獲れなかったことは残念であった。 試合数も徐々に少なくなってきたのでチームでトレーニングから細かい部分の摺り合わせを行い、1つでも多く勝ち点を獲れるようにしていきたい。 最後に対戦いただいた沖縄 S V、審判団、佐賀県サッカー協会、川副少年、応援いただいた皆様ありがとうございました。
13	NIFS KANOYA FC	A	● 1 - 4	猛暑が続く中、少ない人数での鹿児島遠征でした。前日の雨で多少暑さは和らいだように感じましたが、やはり選手は動きが重かったように感じます。 負けが先行する中、何とか前半を無失点で折り返したかったのですが3失点してしまい、思うようにゲームをコントロール出来ずに終わってしまいました。 残り試合に向けて、練習からやり方やメニューを見直し、勝ち点を取るよう頑張りたいと思います。 運営、準備をして頂きましたNIFS KANOYA FCの皆様、鹿児島県サッカー協会の皆様、ありがとうございました。
14	佐賀 L I X I L	H	● 0 - 2	佐賀ダービーということで多くの観客に会場いただいた中での試合でした。 選手たちは猛暑の中頑張っていました。最後のところでLIXILさんが1枚上手でした。 応援に来ていただいた方の前で勝利できなかったことは残念ですが残り試合数も少なくなり、厳しい戦いが続きますが残留に向けて勝ち点を1つでも獲れるようにしていきたい。 最後に佐賀県サッカー協会社会人連盟様、審判団、補助員の佐賀東高校サッカー部の皆様暑い中ありがとうございました。
15	新日鐵住金大分	A	△ 2 - 2 (PK6-5)	新日鐵さんとの試合、選手たちは毎回熱い気持ちで戦っています。今回もそのような試合展開となりました。 パワーもスピードも上回る相手選手に、とにかく集中力を切らさず、失点をしない事を考えてゲームに入りました。 ショートカウンターから先制し、このまま前半無失点で切り抜けたかったのですが、クロスからヘディング、セットプレーからと連続失点しました。 しかし、選手は最後まで諦めずなんとか同点にし、PK勝ちをおさめてくれました。暑い中、最後までハードワークした選手を誇りに思います。 リーグも残り僅かとなり、今回の勝ち点2を次に繋げられるように、体調を整えて、次の試合に臨みたいと思います。 最後に運営準備して下さった新日鐵住金大分さん、並びに大分県社会人サッカー協会、ボールボーイの皆さん、ありがとうございました。
16	熊本県教員蹴友団	H	● 0 - 3	前節の良い流れを持って試合に臨みました。 とにかく勝ち点が欲しい。前半は0-0で折り返しましたが、後半失点、同点にしようと選手交代で、システムを変更しましたが、前がかりになったところを狙われ、3失点。 非常に悔しい敗戦となりました。宮崎の集中開催では、総力戦で残留を決めたいと思います。 準備運営して下さった佐賀県サッカー協会さま、ボールボーイの鹿島実業高校の皆さま、佐賀LIXIL FCさま、ありがとうございました。

節	対戦相手	H/A	試合結果	監督談話
17	九州三菱自動車	A	○2-0	<p>VS 九州三菱自動車サッカー部 九州リーグ残留には負けられない1戦でした。まず失点をしないことをテーマに臨みました。選手達は最後まで集中を切らさず無失点で勝利することが出来ました。最後まで走りぬいた選手たちを褒め称えたい。</p> <p>VS FC中津 今シーズン最終節、選手たちは先日の勝利でいいモチベーションで戦えていました。2試合連続の無失点はチームとして自信になりました。7年ぶりの九州リーグということでホーム運営など各チームの皆様にご迷惑をお掛けすることもあったと思います。申し訳ございませんでした。またチームとしては目標の残留ができたことに安堵しております。</p>
18	FC中津	H	○1-0	<p>最後に2日間集中開催の運営をいただいたJ. FC MIYAZAKI様、宮崎県サッカー協会様、社会人連盟様、審判団の皆様、ボールパーソンの皆様大変お世話になりました。</p> <p>最後に九州リーグ事務局様、九州審判委員会様、各県社会人連盟様、各県で運営補助を頂いた皆様、リーグ所属チームの皆様1年間大変お世話になりました。感謝申し上げます。来シーズンもお世話になります。よろしくお願いいたします。</p>